



芸術学部 デザイン学科 助教

馬頭 亮太 BATO Ryota

E-mail/bato810@art.sojo-u.ac.jp

研究業績
データベース



越境するデザイン：異分野協働の実践的研究

～社会や地域の課題の発掘と解決手段としてのデザイン～



研究シリーズ概要

デザインという言葉が広く社会に認知され、その汎用的概念と多岐にわたる活用が見出せる可能性を秘めた用語としてさまざまな場面で用いられるようになりました。この研究は、そうした状況のなか、直接的なデザインが介在していなかった領域にクリエイティブやデザイン思考を導入することで生まれる新たな関係性に着目し、異なる領域や職種間の触媒としてデザインがいかに機能するか、社会や地域における様々な課題の発掘とその解決手段としてのデザインの可能性を探索しています。

具体的には、地域開発におけるデザインの役割として地域ブランド開発、商品企画開発、地域資源開拓に取り組むほか、ソーシャルデザイン領域では多様な社会課題解決への取り組みを実践しています。また、エディトリアルデザイン領域においては、編集によるアーカイブ構築とそのデザイン手法を研究対象としています。これらの一連の取り組みで得られた成果は、次なる関わり合いの創出を目的に展示という手法を通じて社会に提示・還元することで、デザインの社会的価値と実践的応用の拡張を目指しています。



利点・特長・成果

デザインという手段を触媒に、従来の枠組みや領域を超え、実際の社会的課題等の解決に直結する実践的な手法を提供することが特徴です。異分野協働を促進することで、これまで見えなかった課題の発見や革新的な解決策の創出が期待できます。地域ブランド開発や社会的課題解決の取り組みを通じて、地域活性化や社会問題の改善に具体的な成果をもたらします。また、編集・アーカイブ手法によって知見の体系化と継承が可能となり、展示を通じた社会還元においては、研究成果が広く社会に浸透し、新たな関わりを生み出すことも期待できます。



公民館の可能性をテーマにした書籍づくり



Tokyo Midtown Design Hubで開催した「公民館のしあさって展」



令和2年豪雨の被災～復興までをまとめた書籍づくり



芦北災害スタディーツアーの開発とデザイン

その他の研究シリーズ

- 地域開発におけるデザイン (地域ブランド開発、商品の企画開発、地域資源開拓)
- ソーシャルデザイン領域 (社会課題の解決に向けた多様な取り組み)
- エディトリアルデザイン領域 (編集によるアーカイブとそのデザイン)



キーワード 地域とデザイン、ソーシャルデザイン、展示デザイン、地域資源活用、編集、社会教育

本技術に関し、対応可能な連携形態(サービス)

知財活用	可	技術相談	可	共同研究	可
施設機器の利用	否	研究者の派遣	可	技術シーズ 水平展開	可

開発段階

5	第5段階	製品・サービス化(試売/量販)段階	2	第2段階	試作(ラボ実験レベル)段階
4	第4段階	ユーザー試用段階	1	第1段階	基礎研究・構想・設計段階
3	第3段階	試作(実証レベル)段階			

SDGsの目標

